宜野湾市地域学校協働本部（宜野湾市）

構成学校	市内9小学校、3中学校（普天間小学校、普天間第二小学校、大山小学校、大謝名小学校、嘉数小学校、志真志小学校、宜野湾小学校、長田小学校、はごろも小学校、普天間中学校、真志喜中学校、嘉数中学校、宜野湾中学校）				
開始年度	平成21 年	登録ボランティア	541 人	地域学校協働活動推進員等（コーディネーター）	10 人
地域学校協働活動推進員等（コーディネーター）の配置場所	市内小中学校	連携機関・団体	PTA、自治会、青年会、農家の方等		

◆代表的・特徴的な活動

- 学習支援活動（個別・授業に入っての補助等）
- 地域で活動する方によるキャリア教育
- 体験学習の企画支援
  （ウミガメ講座、種のはなし、
  うちなぁぐち講座等）
- 蔵書点検
- 家庭科でのミシン補助
- 昔遊び体験
- 給食配膳の補助
- 家庭科調理の補助
- 交通安全見守り
- 読み聞かせ
- 校医検診の補助

ウミガメ講座（大山小学校）

うちなぁぐち講座（普天間第二小学校）

「田いも学習」（嘉数小学校）

「種のはなし」（志真志小学校）

◆工夫していること

・地域学校協働活動推進員（以下、「地域コーディネーター」という）同士の情報交換の場を定期的に設けている。令和元年度は隔月の第三火曜日として実施。
・コーディネートスキルアップ・人材交流のため、県から紹介された研修や本市主催の市民協働に関する講座・研修等の情報を随時、地域コーディネーターに提供している。
・ボランティアや先生から感想や意見を聞き、今後の活動に活かすよう努めている。

コーディネータ定例会

◆成果と課題

〇【コ】コーディネーター間においてLINE等のSNS活用により情報共有・サポートがより活発になっている。
〇【学校】学習支援（員）が入ることで、授業以外だけでなく学校生活に幅が出るという好影響も生じている。
△【本部】学校での協働活動についての認知度・地域コーディネーターの活用は広がってきているが、地域の方々への認知度はまだ低い。コミュニティースクール担当部署との連携強化が必要。
△【本部】コーディーネーター後任人材の発掘に苦慮している。